

イモリ

しんぶん

Vol. 80

常に体を
またえているといても
過ぎてはならない姿勢

肩に
ちっちゃいジューブ
のせしんの
かい!

ポテビレ語

発行日：2023年 6月 27日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

イモリの姿勢

イモリの普通の姿勢を意識したことはありますか？

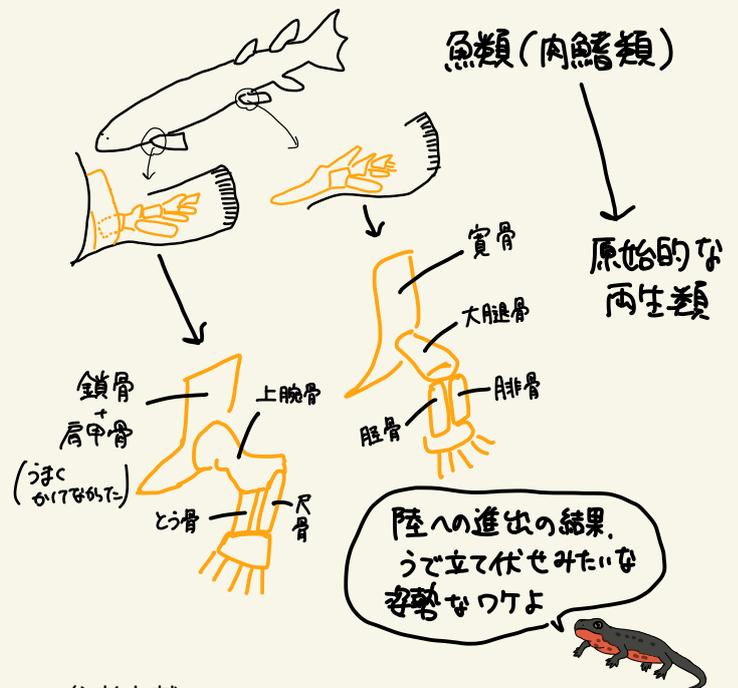


イモリたちは、常に腕立て伏せをしているような姿勢をしています。つまり、上腕や大腿部が地面に対し平行で、橈骨尺骨や脛骨腓骨部分は地面に対し垂直になっています。(私たち哺乳類は、上肢や下肢が地面に対し垂直な状態で直立しています。)

イモリなどの両生類や爬虫類は、上記の姿勢を取ります。これは、生物が水棲生活から陸上生活へ移行する際に、体を変化させた際に獲得した姿勢です。

イモリのなかまである両生類のグループは、肉鰭類という魚のグループから進化しています。陸上生活を行うためには、身体の支持と運動、呼吸、乾燥、繁殖などに課せられた問題に対応しなくてはなりませんでした。

遊泳から歩行へと移行するための問題はなんでしょうか。水中では、体の密度は水よりもわずかに大きいため、水の浮力がはたらきます。しかし、陸上では浮力がありません。また、重力の影響もあります。そのため、しっかりと体を持ち上げるための支持系が必要だったのです。



参考文献

Radinsky, L. D. 2002. 脊椎動物デザインの進化 (山田格, 訳) (初版). 海游舎, 東京, 214pp.

次回 イモリの姿勢2